

2-1

ホーンセクションの人数
・楽器の組み合わせ

ジャンル別、ホーンセクションの最適な人数

目的に応じて適した編成を選ぼう！

- 一般的なポップス
 - 程よいホーンのテイストで、ほかの楽器とうまく共存可能な編成に。
- ホーンを主体とした曲
 - がっつりホーンを聴かせたい楽曲で採用すると良い。
- ビッグバンド
 - ホーンを扱う編成の中で最大級のもの。

用途	人数	編成
一般的なポップス	少ない	3管～5管
ホーンを主体とした曲	多い	6管～10管
ビッグバンド	最大	12管以上

さまざまなユニゾンの組み合わせ

ホーンセクションでは多様な音色をもつ楽器が登場するため、どの楽器を組み合わせるかによって、得られる音色も千差万別。シンプルなユニゾンであっても、楽器の組み合わせ次第で多様なサウンドを得ることができることを覚えておこう。

3管編成のユニゾン

3管編成におけるユニゾン例は以下の通り。

【2管のユニゾン】

- トランペット + トロンボーン
- トランペット + アルトサククス
- トランペット + テナーサククス
- トロンボーン + アルトサククス
- トロンボーン + テナーサククス

【3管のユニゾン】

- トランペット + トロンボーン + アルトサククス
- トランペット + トロンボーン + テナーサククス

【参考】ホーンセクションの編成：3管編成

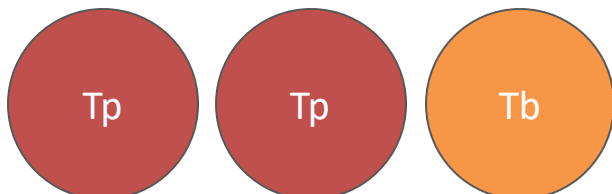
パターン①: Tp + ASax + Tb



パターン②: Tp + TSax + Tb



パターン③: Tp + Tp + Tb



パターン④: Tp + ASax + TSax



4管編成のユニゾン

4管編成におけるユニゾン例は以下の通り。(3管編成との差分のみ表記。)

【2管のユニゾン】

- トランペット + トランペット

【3管のユニゾン】

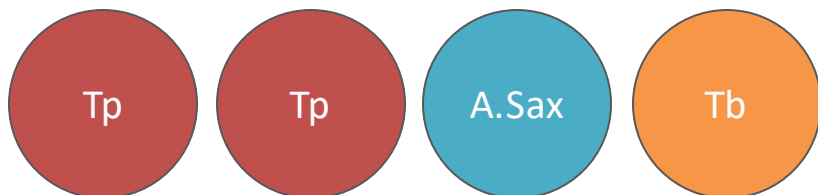
- トランペット + トランペット + トロンボーン
- トランペット + トランペット + アルトサククス
- トランペット + トランペット + テナーサククス

【4管のユニゾン】

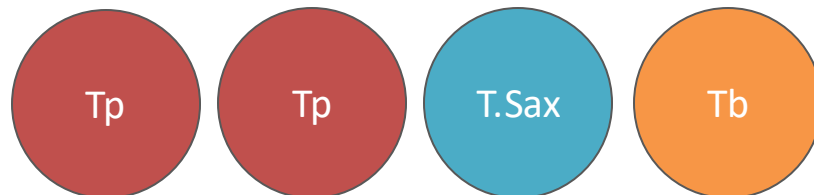
- トランペット + トランペット + トロンボーン + アルトサククス
- トランペット + トランペット + トロンボーン + テナーサククス

【参考】ホーンセクションの編成：4管編成

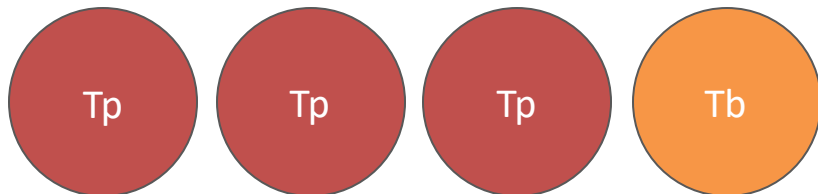
パターン①：Tp + Tp + A.Sax + Tb



パターン②：Tp + Tp + T.Sax + Tb



パターン③：Tp + Tp + Tp + Tb



パターン④：A.Sax + T.Sax + T.Sax + B.Sax

